

グループワーク	事前課題	特別な持ち物
×	×	電卓

財務基礎〔財務3表〕

～財務3表理解から決算書を読み解く力を身につけよう～

講座時間/受講料

10:00～16:30（1日間）／会員1名：21,450円（税込）、一般1名：42,900円（税込）

講師名

TOMA コンサルタンツグループ コンサル部 執行役員 経営コンサルタント 井関 臣一郎 氏

対象

経営者、経営に直接かかわる方、経理担当・財務担当の方など

ねらい

初めて財務を学ぶ方に向けた超入門編です。財務知識ゼロの方でも財務分析ができるように、最初に財務3表の構成、つながりを理解し、さらに「財務分析」の演習を行いながら、決算書を読み解く力を身につける講座です。財務の基礎知識を習得することで、定量的にビジネス構造を理解し、改善の着眼点を得ることを目的にしています。これまで数値が並んでいるだけだった「決算書」を「財務3表」に置き換え、①儲けの構造はどうなっているのか？②お金はどのように流れているのか？③改善の切り口はどこにあるのか？これらが「決算書」から分かるのかを体感して頂けます。決算書は様々な情報を読み取れる宝の山でもあります。業界の傾向も確認しながら、今後のビジネスに活用していきましょう。

講座カリキュラム

1. 財務諸表とは

- ・財務諸表の構成を学ぶ
- ・財務状況がわかる形式にするには
- ・取引が見える形式にするには
- ・財務3表の構成とは
(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)
- ・練習問題（実際に取引をイメージしての作成）
実際に手を動かしながら貸借対照表、損益計算書、
キャッシュフロー計算書を理解してみましよう

2. 財務3表の関係性で分かるビジネスの流れ

- ・実例から学ぶ財務3表の繋がり方
- ・実際に財務3表を作り、財務3表がどうつながっているのかを理解してみましよう
- ・貸借対照表（資産と負債・純資産のバランス、流動と固定のバランスを見る）
- ・損益計算書（どのくらいのコストを使い、いくらの上上を上げたのか効率性を見る）
- ・キャッシュフロー計算書
(貸借対照表と損益計算書のつながりを資金の動きから見る)

3. 財務分析とは

- ・財務分析の目的と情報として得られる経営状態
- ・分析項目の確認（収益性、生産性、資金性、安全性、健全性、成長性）
- ・各項目に対応する指標説明（売上高経常利益率、自己資本比率など30項目）
- ・問題演習で2社を比較し、経営状態を理解しよう

4. 実際に分析してみよう

- ・自社の財務分析と業界平均値からわかること
- ・起きている問題点の原因を特定する方法

5. 決算書を読み解いてどうビジネスに活かしていくか

- ・新たな付加価値を生み出すこと考える視点は6つの視点で考える